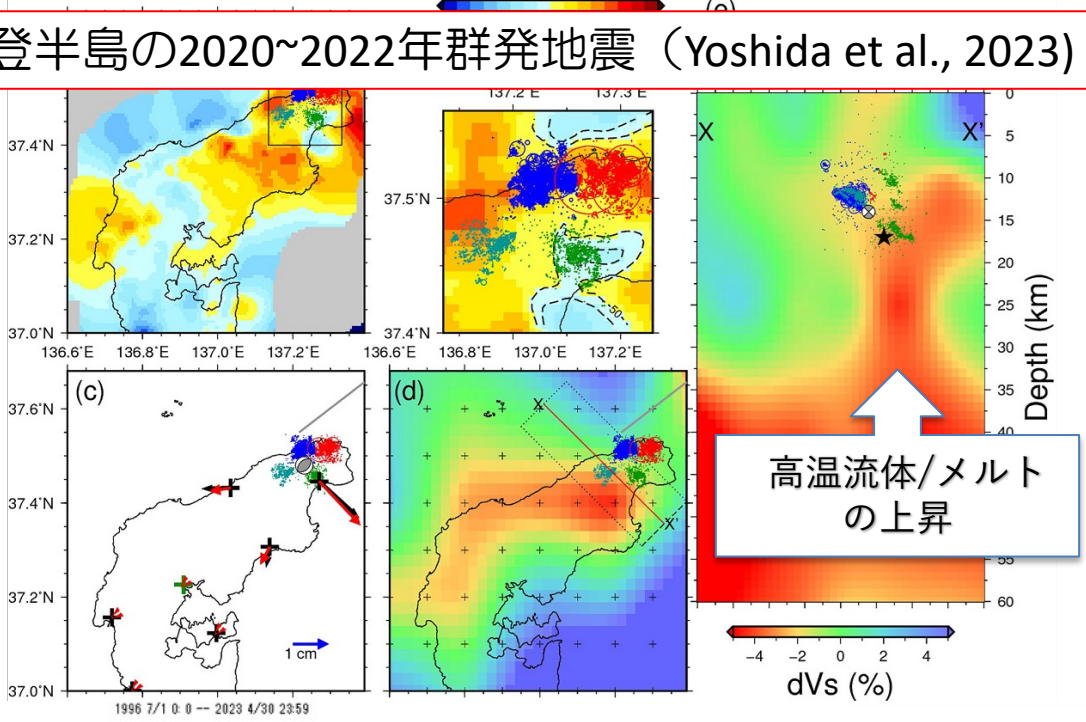
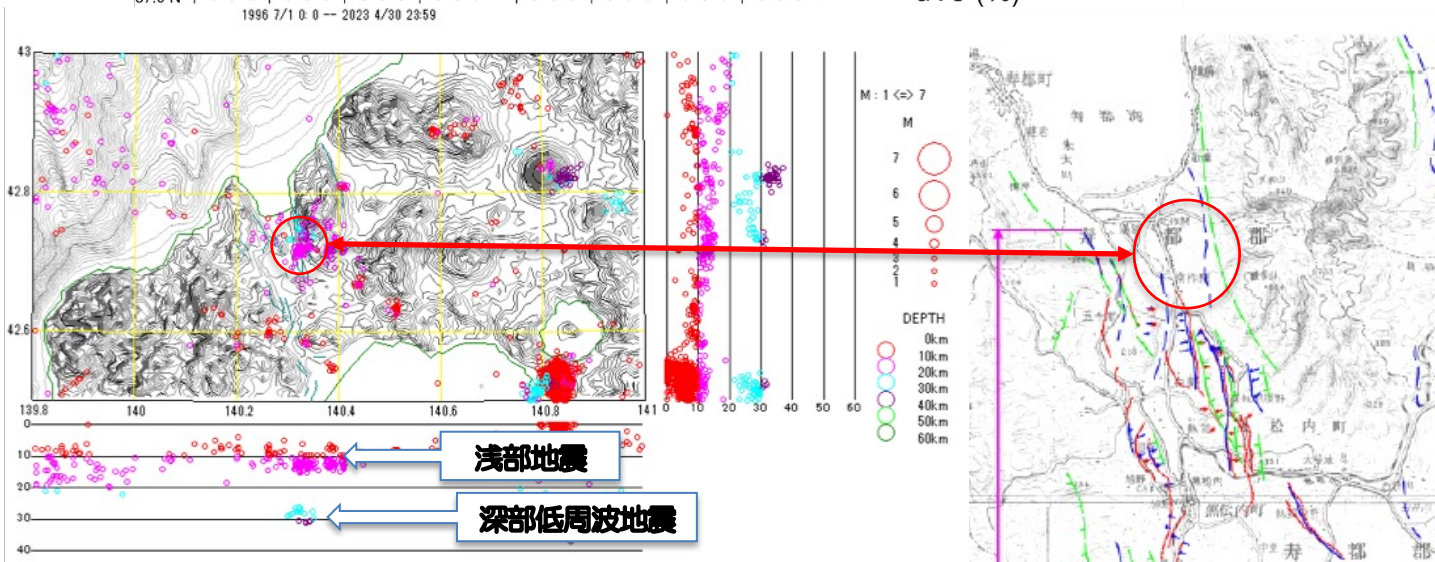
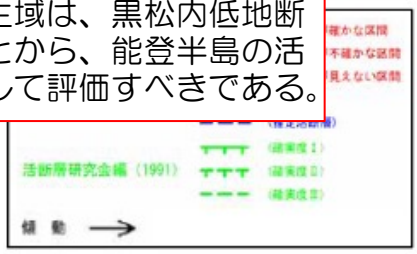
能登半島の2020~2022年群発地震（Yoshida et al., 2023)

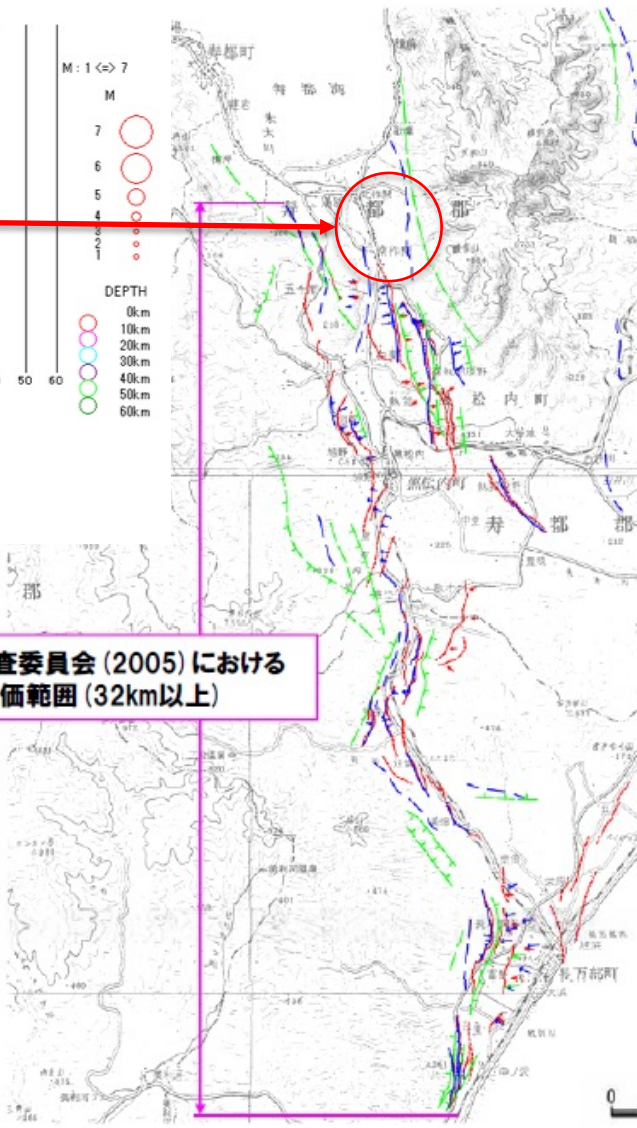




能登半島の群発地震は、メルト(and/or)流体に関与した地震であり、2024年の地震は、そこから活断層帯に連動したと考えられている。

寿都の地下30ｋｍの低周波地震（深部流体に関与）と10ｋｍの浅部地震の観測データは、新たな火山が生じる可能性ではなく、能登半島の群発地震との類似性に照らして判断すべきである。
さらに、寿都の地震発生域は、黒松内低地断層帯の北部と重なることから、能登半島の活断層の連動地震に照らして評価すべきである。





黒松内低地帯の文献断層分布図

資料5